

人と文化とジェンダーと。

(3回連続講座)

2023.11/19(日) 11/23(祝) 12/3(日) 13:00~15:00

映像作品や出版物など、人を取り巻くさまざまな文化を通して、
ジェンダーや女性の生き方、男女平等について考えます。

1 11/19 「女性の視点」を考える：男女で社会は異なって見えているのか
女性学やジェンダー研究では、「女性の視点」が大切にされています。しかし「女性の視点」とは何なのか、そしてなぜ大切なのか。テレビドラマなどを素材に考えてみましょう。

2 11/23 わたしがひろがる。本でつながる。フェミニズムのはなし
映画や音楽などの視聴覚文化が人々を魅了する現代社会にあって、まだ伝えられていない女性たちの声を活字にして届ける出版社があります。その作り手の思いを、本でつながりながら考えてみましょう。

3 12/3 もののけとジェンダー：異なるものへの／からの視線
〈わたし〉たちとは異なる世界の住人「もののけ」。「もののけ」にまつわる視線は、何を表し、何を伝えているのでしょうか。「もののけ」を描く意味を考えてみましょう。

対 象◆どなたでも 先着30名

会 場◆葛飾区男女平等推進センター（立石5-27-1 ウィメンズパル内）

受講料◆無料

保 育◆1歳以上就学前のお子さん5名

※保育の受付は、11月8日（水）午後5時までをお願いします。

申込方法◆電話またはオンライン申請にて、10月17日（火）午前9時から先着順で受付



オンライン申請

講師プロフィール

1

3



大橋稔（おおはしみのる）さん

城西大学語学教育センター所長・教授
専門は女性学、ジェンダー研究、アメリカ
黒人女性文化研究。

周縁から社会を見ることは、誰かを見捨
てることのない社会の姿を考えるため
には大切なことだと考えている。そこで獲得
した視点を用いながら、日本の実践的問題
として男女共同参画について関心を持ち、
川越市男女共同参画審議員を務めている。
また日本におけるマイノリティ女性の人
権にも関心を持っている。

趣味は授業で、趣味＝職業の生活を過
している。学生から多くのことを学んでお
り、学生に届く言葉を探している。

2

松尾亜紀子（まつおあきこ）さん

エトセトラブックス代表、編集者。
出版社で15年間編集者として勤めた後、
2018年にフェミニスト出版社「エトセトラ
ブックス」を設立。19年にフェミマガジン
「エトセトラ」創刊。同社の刊行物は、牧野
雅子『痴漢とはなにか』、ベル・フックス
『フェミニズムはみんなのもの』（堀田碧
訳）、ユン・ウンジュ『女の子だから、男の子
だからをなくす本』（すんみ訳）など。21
年、新代田にフェミニズム書を集めた書店を
オープン。性暴力の根絶を訴えるフラワーデ
モ呼びかけ人のひとりでもある。



(c) SAMSON LEE